

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 31 日 (2016.3.31)

【公開番号】特開 2016-27711 (P2016-27711A)

【公開日】平成 28 年 2 月 18 日 (2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報 2016-011

【出願番号】特願 2015-171374 (P2015-171374)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

G 0 6 F 3/12 3 7 9

G 0 6 F 3/12 3 2 0

G 0 6 F 3/12 3 2 9

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 15 日 (2016.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供する画像形成装置であって、

プリンタアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションと、

前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有し、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行うプラットフォームと、を有し、

前記プラットフォームは、

前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行うアプリサービスと、

前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う共通システムサービスであって、前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスと、

を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記オペレーションパネルコントロールサービスは、前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を仮想的に生成すること

を特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記オペレーションパネルコントロールサービスは、仮想的に生成した前記それぞれの画面のうちの画面を前記表示部に表示させることを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記オペレーションパネルコントロールサービスは、仮想的に生成した前記それぞれの画面のうち複数の画面を合成して前記表示部に表示させることを特徴とする請求項 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記複数のアプリケーションは、アプリケーションごとに追加または削除することができることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一つに記載の画像形成装置。

【請求項 6】

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を用いて、プリンタ、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供する画像形成装置で実行される画像形成方法であって、

前記画像形成装置は、プリンタアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションを有し、

前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有するプラットフォームによって、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行い、

前記プラットフォームは、

アプリサービスによって、前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行い、

前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスによって、前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う

ことを特徴とする画像形成方法。

【請求項 7】

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供し、プリンタアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションを有するコンピュータに、

前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有するプラットフォームによって、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行い、

前記プラットフォームは、

アプリサービスによって、前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行い、

前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスによって、前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う

ことを実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上述した課題を解決し、目的を達成するため、請求項 1 の発明に係る画像形成装置は、

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供する画像形成装置であって、プリンタアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションと、前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有し、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行うプラットフォームと、を有し、前記プラットフォームは、前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行うアプリサービスと、前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う共通システムサービスであって、前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスと、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

この請求項 1 の発明によれば、各ユーザーサービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作部分を作成すれば足りる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 9
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 8
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 8】

請求項 1 の発明によれば、各ユーザーサービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作部分を作成すれば足りる。

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0039
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正30】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0040
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正31】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0041
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正32】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0042
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正33】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0043
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正34】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0044
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正35】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0045
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正36】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0046
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正37】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0047
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正38】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0048
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正39】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0049
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正40】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0050
【補正方法】削除
【補正の内容】